

令和 7 年度第 1 回タウンミーティング 会議録
(市長プレゼンテーション部分)

日時：令和 7 年 5 月 23 日(金) 19:00～20:30

令和 7 年 5 月 24 日(土) 10:30～12:00

場所：K'BIX まえばし福祉会館 多目的ホール

参加人数：85 人（23 日）、108 人（24 日）

司会)

皆さんこんにちは。本日は令和 7 年度第 1 回まえばしタウンミーティングにお越しいただきまして、誠にありがとうございます。司会を務めます、青柳と申します。どうぞよろしくお願い申し上げます。それでは早速、小川市長からご挨拶と、前橋のより良い未来と一緒に考えようをテーマに、令和 7 年度予算を踏まえた市政報告をお願いしたいと思います。よろしくお願いします。

市長)

皆さん、改めましてこんにちは。はい、今日は貴重な土曜日の午前中、わざわざ足を運びいただきましてありがとうございます。昨年から開始しているこのタウンミーティングですが、市民の皆さんと一緒にいろんなことを話し合って、前橋の未来を皆さんと一緒に作っていきたいということで、回数を重ねていきました。今日は今年度の 1 回目ということで、色々前橋の今年の予算だとか、課題に思っていることなどを踏まえて、皆さんと意見交換できたらなという風に思っています。これから 1 時間半ぐらい時間を取ってあります。去年は 1 時間でやったんですけれども、ちょっと質問の時間が足りなくなってしまって、最後まで聞ききれなかったというのがあって、少し時間を伸ばしました。だけど、昨日の夜はやっぱり時間が足りなくなってしまって質問聞ききれなかったなので、サクサクやっていたらなと思っています。

そしてこの後の時間ですね、皆さんと一緒に有意義な時間にしていききたいと思いますので、

ぜひご協力いただいて、なるべく楽しくですね、みんなが発言しやすく学びが多い時間に一緒にできたらなという風に思っています。

まだ朝でちょっと緊張しているところもありますので、最初に質問をしたいと思います。さて、今日のタウンミーティング、まず皆さんがどういう目的で参加をしたのか聞いてみたいと思います。いくつ手をあげてもらっても大丈夫です。6 個全部上げてもらっても大丈夫ですし、6 番にあんまり手が上がらないと寂しくなるのでよろしくお願いします。

まず、前橋市のことを色々知ってみたいと思って参加した方。多いですね、ありがとうございます。次にですね、市に対して意見とか提案とか、考えていることがあるよという方。ありがとうございます。あとでいっぱい質問してください。次、周りの人が何を考えているのか知ってみたいと思った人。ありがとうございます。たくさん手が挙がりました。私も意外だったんですけど、去年1年間タウンミーティングをやって参加した皆さんのアンケートを聞くと結構この3番が多かったんですよ。他の人が何考えているのかが分かって勉強になったとか、安心したとか、そういう意見が多かったので、みんなが考えていることを知りたいという人が多いのかなと思います。あと4番ですね、なんとなく面白そうだなと思った人。ありがとうございます。そして5番、今日めちゃくちゃ暇だったから来てみたという人。何人かいらっしゃいますね。6番、市長に会ってみたいと思った人。どうもありがとうございます。優しいですね皆さん、元気にやっていけそうです。

タウンミーティングですけれどもまさにですね、皆さんの意見を聞くことで、私たち市役所、行政も政策に反映をさせていきたいと思っていますし、それだけではなくて、いろんな意見を聞くことで、皆さん1人1人があるいは地域の中でも新しい発見をしていただいたり、新しいアクションに繋がるようなものが生まれてくるといいなと思ってやっています。

私が市長になって1年と3ヶ月ぐらいが経ったんですけども、1年間市役所にいてすごく感じたのは、やはり要望ですね。市民の皆さん、いろんな業界の皆さんから要望をいただくこと、すごく多いです。これはもちろん行政がやらなきゃいけないこともたくさんあるんですけども、なんとなく全部市役所がやってくれるんでしょとか、市役所がやるのは当たり前でしょ、公務員だからやれみたいな感じで要望を持ってこられると、それは少し違うんじゃないかなと思うことが正直ありまして、昔の街を作っていく、まさに高度成長の時みた

いに大きい道路通すぞとか、街を発展させていくぞという時には行政が計画を作って、それに基づいてトップダウンでまちづくりをしていくという時もあったと思うんですけど、今は持続可能な社会をどうやって作っていくのか、これから人口も減っていく中で、みんなが協力してよりよい地域を作っていくことを考えなきゃいけない時代だという風に思っています。

その中ではやはり行政だけが考えて決めてやればいいということではなくて、皆さんと一緒に考えていくことが大切になりますし、例えば自治会の中でもそうだと思うんですけど、自治会は今担い手が少なくて自治会長が大変だとか、役員さんが大変な思いしている、民生委員の方も受けていただいた方がすごく頑張っているんですけど、一部の人のみが頑張っている状況では、その町内をうまく回していくのは難しいと思います。なるべく多くの人に関わってもらって、どうやってじゃあ自治会活動を続けていけるかとか、みんなは参加しやすい環境を作るのはどうするかというのを考えていくことが大切なので、まさに市を運営していく上でも、できるだけ多くの主体の皆さんに参加をしていただいて、一方的に要望する立場じゃなくて、一緒になって考えていくということが大事だなという風に考えています。

皆さんに参加をしていただく機会というのはいろいろありまして、今まで多かったのはパブリックコメントという、計画とか条例を作る時に皆さんからの意見くださいというのをやっているんですけど、これ実は、あんまり意見が来ないです。1件とか2件とか、難しい計画を全部読み込んでいただいて意見くれる方もいるんですけど、なかなか浸透してないなというのがあって、それ以外にも前橋市への提案・意見ということで、日頃メールだとかお手紙くれる方もいるんですけど、一方的なやり取りだけではなくて、こうやって双方向で皆さんで話ができる場が大事だろうということで、タウンミーティングだとか、市民ワークショップ、みんなでいろいろ考えようという機会を昨年からたくさん作るようにしています。今日もですね、そういった形でみんながこの時間過ごしていきたいんですけど、大切にしたいことがいくつかあります。

この後ですね、私がちょっと喋った後に意見交換の時間があるんですけど、意見交換をする時にはさっき手を上げていただいたみたいに、会場の皆さんからたくさん意見をしてもらいたいと思います。これだけ人数がいる中で、手を上げて発表するのは結構勇気がいることだと思うので、発言してくれた方には是非みんなで拍手をして、まずその発言に対して

賞賛をしたいという風に思います。あとですね、もしかすると、他の人が言った意見は自分が考えていることと全然違う意見が出てくるかもしれません。でも、人の考えと自分の考えが違うのは当たり前だと思います。これだけ多くの方がいますし、前橋市民は 33 万人、方がいますので、それだけ考えがあっていいはずです。なので、誰かが自分と違った意見も言ったとしても否定をせず、そういう考えもあるんだなという風に受け入れてください。

同じように、この会場の方がそうだと思った時に、自分はもしかしたらその考えは違うんじゃないかなという風に思うかもしれない。でも、それでも自分の考えとか、存在が否定されたという風に不安になる必要はないと思います。周りの意見も大切にすけれども、自分自身の意見や考えも大切にしてもらいたいと思います。

で、先ほどから言っているように、この場はみんなで考える場です。ひょっとすると市に対して何か文句が言いたいとか、市長に対してちょっとクレームがあるんだ、私に対して何か言ってやりたいことがあるという人もいるかもしれないんですけど、それはまた別の機会に伺いますので、今日はみんなで考えたいテーマとか、こういうことが困っているんだけど、どうしたら解決できるかなというのを考える場にしていきたいと思います。発言時間はこの後もお話しありますけれども 2 分ぐらいでお話をして、皆さんでなるべくたくさん話ができる時間を作っていきたいと思います。

まず、昨年のタウンミーティングの振り返りですけれども、こういったタウンミーティングですね、昨年度、何回もやりました。予算について説明した回もありますし、若い人の意見も聞いた方がいいだろうということで、高校生を対象に開催した回もあります。あとは、子ども子育てを中心に、前橋市は色々な政策を考えているので、子育て世帯の方々、あるいは子育てに関わる活動をしている皆さんともタウンミーティングを開催しました。あと、農業ですね、農家の皆さんと、消費者の皆さん、みんなで前橋の農業を考えようという回もやりまして、これは一般の方、農家や JA 以外の方も参加してくれて、皆さん、農業とか食べるものに対して関心があるんだなというのも分かったところであります。

それ以外にもですね、こうして皆さんに来てもらって話し合いましょうという場所だけではなくて、私が突撃して行って、少し時間くださいと押しかけて行って、話し合いをするという回も 10 回ほどやりまして、福祉団体の方だとか、自治会だとか、前橋工科大学とか、い

ろいろな方と話をさせていただいています。

今年度も、今日以外にも、みんな誰でも参加できる回をあと2回用意してまして、夏には交通をテーマに、冬には暮らしの関係、皆さんやはり、自分の周りについて考えていることあると思いますので、いきいきと暮らすというテーマで開催をしたいという風に思っています。ぜひ、今後も参加していただいて、色々な意見交換ができると嬉しいなと思っています。

前橋市は昨年度から、子ども子育て最優先ということで、様々な取り組みをしているんですけれども、その中でも、子どもに関しては子ども基本条例という、子どもの権利に関する条例を作るというのと、子ども計画全体を見直すということでこの二本立てを去年と今年の二か年で取り組みをしています。

子どもに関しては、子育て世帯の課題ですよという風にとられがちなんですけれども、これは子育てしている方々だけではなくて、社会全体に関わる大きなテーマだという風に思っています。人口が減少していく中で、地域の担い手を育てていくというのは非常に大切なことですし、会社にとっても、若い人材がなかなか採用できないという声をあちこちで聞きますし、住んでいる町内でも、育成会の活動が大変だとか、将来の社会保障を確保していくためにも、若い世代をどれだけ育てていくかというのは大きなテーマになってきます。

子ども基本条例につきましては、特にですね、色々な意見を聞くというのも大事なんですけど、子ども自身の意見を聞いて作ろうということで、中学生とか、小学生、高校生にもこの条例づくりに参加していただいて、子どもたちの声を反映したものを作成しているところになります。今日から、条例の前文という条例の前にその条例の目的だとかどういう思いで作ったのかという前文を置くのですけれども、その前文の文章を高校生自身に考えてもらうというワークショップも今日から始まるので、自分たちが作った文章が法律になるという経験を子どもたちができるのは貴重な機会だという風に思っています。

同じようにですね、昨年から進めて来たものの中で、総合計画の見直しというのも行いました。前橋市は総合計画という10年の計画に基づいて、まちづくりを進めています。現在は

2018 年から、2027 年度までの第七次総合計画といったものに沿って、色々な政策を進めているんですけども、総合計画読んだことあるという方、どれくらいいらっしゃいますか。何人かいますね、ありがとうございます。前橋の一番、根本になっている計画なんですけれども、多くの市民の皆さんに、存在が伝わっていなかったり、中身を読んでもらうことが出来ていないというのは課題として感じているところになります。

今回の見直しでは、なるべく見やすいものを作ろうということで、グラフとかも工夫をして、分かりやすい計画にしています。第七次総合計画の仕上げの 3 年間、これから 3 年間前橋が重点的に取り組むことが分かりやすく書いてあるので、ぜひ後で、ホームページからでも見られるので、ちょっと見ていただけたらなと思っています。

で、第七次総合計画があと 3 年で終わるんですけども、この 3 年の間に第八次、次の総合計画も作る予定になっています。ぜひ皆さんにも作る段階から参加をしていただいて、私の理想としてみると、前橋市民 33 万人が全員、総合計画知っているよ、前橋が今どういう方向に進んでいるのかみんなが知っているよ、というような街になると、すごく素敵だなと思っているので、これからまずは、第七次の改訂版を読んでもらって、第八次を作る時にも皆さんに協力いただけたらと思います。

その他の昨年の取り組みですけども、子どもの関係では、中学校の給食費を無償化にしたり、あとはですね、少子化で子どもの数が減っているんですけども、不登校の児童生徒は非常に増えておりまして、その不登校の児童生徒に対する支援、フリースクールに通う交通費の補助とか、オンラインでも授業を受けれるような仕組みというのを開始しました。

その下はですね、障がい福祉の関係ですけども、障がいのある人とない人が、前橋は一緒にいろんな活動ができる街にしていきたいという風に思っています。なので、みんなで一緒に見られる映画祭をやったり、みんなで楽しめるスポーツのイベントをやったり、一番下は聴覚障がい者向けの防災マニュアルというの、聴覚障がいの当事者の方と一緒に作りました。災害があった時には避難所に一緒に避難することになります。ただ、その時にコミュニケーションが取れなかったらどうしようということで事前にですね、このマニュアルを見ていただいて、聴覚障がいの方も事前の準備をしていただくし、あるいは自治会の皆さんにもこういうマニュアルを見ていただいて、避難所に耳の聞こえにくい方が来た時にどう対応

していったらいいかというのを、一緒に学んでもらうというようなものになっています。

交通関係では、路線バスの割引というのを始めました。高齢の方と学生が、バスに 10%割引で乗れるということになっているので、皆さん、車に乗る方が多いと思うんですけど、たまにはバスにも乗っていただけると嬉しいなと思っています。農業の関係では、市役所でマルシェを始めました。不定期なんですけれども、市役所の中で前橋産の野菜だとか、赤城の恵という、前橋でブランド認定している商品を販売したりして、前橋の農業を盛り上げたいなという風に思っています。

あと、給食の地産地消というのにも取り組んでおりまして、前橋ロールという前橋産の小麦を 100%使ったパンを、1 日ですけれども、学校給食で提供することが出来ました。これは意外と知られていないんですけれども、子どもたちが食べている給食のご飯と麺類はほとんど群馬県産、あるいは前橋産のお米とか麺を食べているんですけれども、パンだけは、輸入の小麦を使ってパンを作っているんで、どうしてもですね、物価高騰の影響があったり、あるいはなかなか地産地消が進まないということがあったんですけれども、生産者の方と JA の方と学校給食会の方に協力していただいて、なんとか前橋の小麦でパンを作ろうというのを一緒に取り組んでいただいて、1 日提供することができました。こういう日を増やしていけるといいなという風に思っています。

他にはですね、前橋市の取り組みの中で非常に特徴的なのが民間の皆さんと一緒に、まちづくりを進めているというのがあります。冒頭にもお話ししましたが、行政だけで全てやるというのは難しく、企業の皆さんだとか、地域の皆さんに協力してもらって、一緒にやることで課題が解決できるものというのはたくさんあります。最近ですね、街中、馬場川通りに行った方どのくらいいらっしゃいますか。ありがとうございます。すごく歩きやすくなって、フラットになって非常に今、土日は若い人もたくさん街中に来るようになってます。これも民間の企業の皆さんと一緒に、整備をした道路になります。今日もしタウンミーティングが終わった後、時間があれば馬場川通り歩いてもらったりですね。あとはアーツ前橋も企画展やっているんで、あと、文学館も今面白い企画展やっているんで、ぜひ街中も散策してもらえたらなと思います。

それ以外にも公園の美化プロジェクト、皆さんの住んでいる地域の周りにある公園は勝手

に綺麗になっているわけじゃありません。地元の公園愛護会の皆さんが整備をしてくれているので、毎日綺麗な公園ができていますけれども、ただ愛護会も高齢化が進んでいたり、なかなか広い公園を管理するのは大変だという声が上がってきておりまして、去年からですね、地元の企業の皆さんと連携をして、企業の方も一緒に草刈りとか公園の管理を手伝ってもらおうというのを始めました。これも結構助かっています。こういう皆さんに協力してもらって、よりよい町を作っていくというのがもっとももっと増えると良いなと思います。中にはですね、公園の遊具を塗り替えようというのを、子供たちと企業の方と一緒にやったり、橋のガードレールの塗り替えを子供がやったりということで、そういった動きも出てきています。

セブンイレブンと連携をして、前橋のセブンイレブンにはペットボトルの回収機というのが設置されているんですけども、使ったことある方いますか。ありがとうございます。ペットボトルは前橋市の資源ごみの日に出していただければ、市の方で回収するんですけども、セブンイレブンに出してもらおうと、セブンイレブンが回収をして、ペットボトルに再生してくれるんですね。で、セブンイレブンのオリジナルブランドの紅茶とか、烏龍茶に変わって販売されるということで、資源が循環する良い仕組みになっています。去年の6月から始めて、今160万本くらい回収されているということで、多くの市民の方に協力していただいて循環が出来ているなと思っています。ちなみに、5本入れるとnanacoポイントが1ポイント貯まるそうなので、みんなでポイントも集めてもらえたらなと思います。

こちらはパンマルシェですね、これもですね、カインズの青柳店で開催していて、ちょうど今日の今の時間からやっているんですけど、市内の障がい施設で作ったパンと、有名なパン屋さんのパンと一緒に販売をしてくれて、皆さんのパンを買ってくれと、障がいのある人の工賃の向上にもつながるということで、こういった取り組みもしていただいています。同じようにですね、廃棄されてしまうおから、お豆腐の相模屋さんが廃棄のおからをですね、再利用できないかということで、前橋のごみ袋として使っていただいて、これはカインズ、ベイシアの小島田店で、試験的に販売しているので、ぜひ寄った時には見ていただけたらと思います。それ以外にもですね、給水スポット設置をしていただいたり、コグベ(cogbe)というシェアサイクルも前橋市やっていますけれども、こういうのも企業の皆さんに協力をいただいて、一緒に街の課題の解決に取り組んでいるところになります。

そして、前橋市の人口の動態ですけれども、皆さんもご存知のように、少しずつ人口は減

ってきておりまして、このまま進むと 2040 年には 30 万人を下回るという風に国の推計では言われています。人口のボリュームゾーンがだんだん高齢化になってきているので、亡くなる方が増えていくというのは、高齢化に伴って必然的なんですけれども、やはり課題は、生まれる子どもが少ない。これがどんどん進んでいってしまうと、将来の担い手がいなくなってしまうので、少子化対策、子育て支援に力を入れる必要があるということになります。

特に若い世代が、生まれる数も少ないのだけど、生まれて育った若い世代、20 歳から 24 歳のところなんですけど、20 代くらいで市外に流出してしまう方が多いというのも課題の一つとして感じています。若い人たちが定着できるような仕組みというのがさらに必要になっています。

これは高齢化率ですね。高齢化率は今 3 割ですけれども、この先 4 割に達する予想という風になっています。人口の関係では、前橋の特徴は外国人の住民の方がすごく増えているということがあります。この 2022 年からの 3 年間でもグラフがすごい勢いで上がっていますけれども、今、1 万人を超えまして、外国人の方が人口の 3.2%になっています。あちこちで見かける機会も多いですし、町内でも外国人の方と一緒に暮らす方というのは増えてきているので、外国人住民の方との共生であったり、コミュニケーションをどうやって取るかというところはさらに課題になってきます。

そういうことも踏まえてですね、当初予算ですけれども、今年度の取り組みについて最後に紹介したいと思います。前橋市の予算は、今年は 1578 億円という一般会計の予算を組んでいます。お金いっぱいあるなと思う方どのぐらいいますか。わかんないですよね。私も 1578 億円が多いのか少ないのかと言われると、金額的に見るといっぱいありそうに見えるけれども、実際にこの使い道を見てみますと、水色の一番多いところがですね、これが民生費という福祉に関わる予算になっています。福祉に関わる予算が大体 4 割ぐらいで、その次に教育費だとか、土木費、土木はインフラの維持管理を含めてですけれども、そういったところの予算がだいたい 10%ぐらいということで割合が多くなっています。

現状はこうなのですが、社会保障に関連する予算というのは年々今後も増えていくだろうという風に言われておりまして、全国的に見ると社会保障関連費、どんどん増えていて右肩上がりが増えていきます。これは全国の自治体の支出傾向ですが、前橋市も同じよう

にですね、社会保障にかかるものと、人件費と、後は公債費、借金の返済にかかるいわゆる義務的経費で、絶対にこれはかかりますよというお金がどんどん増えているので、全体が1500億あっても、それ以外に使えるところはやっぱりどんどん少なくなっているなというのは、行政としても予算を組む上で非常に苦勞をしているところになります。

こういう全国的な傾向があることに加えて、前橋市はこれから先、10年ぐらいで、ちょっと大きなプロジェクトがたくさん予定されています。街中の再開発というのもこれから始まってきます。市立図書館が街中に移転するというのも含めて、ちょっと街中が動いてくるので、そこにもすごく大きな予算がかかりますし、工科大学の図書館と二号館を建て替えていますけれども、こういったところにも何十億という費用がかかってきます。あとは、総社駅ですね、群馬総社駅も産業道路の方に向けて、西口を整理するという計画がありまして、こういったものがこれから先10年の間に、同じ時期に重なってしまっているんで、かなり投資をする予算を取らなきゃいけないということになっています。

合わせてですね、国民スポーツ大会が2029年に開催されるんですけども、知ってるよという方はどのくらいいらっしゃいますか。ありがとうございます。なんか認知度が低いというので、今群馬県もちょっと焦っているんですけども、あと4年後にですね、国民スポーツ大会が群馬で開催されます。で、すいません、私もこれは市長に就任してから知って、結構びっくりしたんですけども、開催する時にいろんな競技を受け入れます。前橋市では14競技、色々なスポーツが開催される予定になっているんですが、その競技の受け入れにかかる運営費用というのを実は受入自治体が持つ仕組みになっておりまして、たくさん受け入れる前橋市は結構運営の費用がたくさんかかるってことになります。なので2029年、ないしはその前の年2028年は国スポの開催費用についても、ちょっと大きい予算をくまなきゃいけないので、その分ですね、他のところを我慢してもらうというような、必要が出てくるかなという風になります。

そうですね、こういった社会保障が増えていくとか、必要なインフラを整備する、投資がいろいろ出てくるというのを考えると、これからの限られた財政状況で何を優先してやっていくのか、あるいは少し遅くできるものは、じゃあ遅くできないかなというのを皆さんと一緒に考えていきたいなと思っています。中には行政がやらなくても、さっきみたいに企業に協力してもらったらできることもあるかもしれないですし、地域の皆さんでやってもらえると、解決できるねという課題もあるかもしれないですし、ペットボトルの回収みたいに一人

一人が協力してもらえると、それだけでも自治体の財政が節約できるなということもたくさんあるので、そういうことを皆さんと一緒に考えていきたいなと思います。

そして、今年度の予算の主立ったところですが、学校の給食費については、中学校に続きまして、小学校も4月から無償ということにさせていただきました。子育て支援という面もちろんありますけれども、給食費の負担が減った分ですね、各家庭で地域でお金を使ってもらえるようになりますので、地域の経済にも効果があるものという風に見ています。また、先ほど少しお話ししたのですが、少子化で子供が減っている中で、不登校の児童生徒が増えています。同じように、実は配慮が必要な特別支援教育の対象になる児童生徒もすごく増えておりまして、その皆さんに対する特別支援学級の介助員の方、スタッフを増やしたり、特別支援学校の教室を増やすというようなことも取り組みを始めたところになります。

あと、分かりやすい情報発信ということで、皆さんから頂く意見の中で、市の情報がなかなか入ってこない、新聞でこういうのをやりましたよというのは見るのだけれども、事前に知れる手段があるといいなというのは、結構いろんな方からお声をいただくので、LINEの公式アカウントのリニューアルというのに取り組んでいます。もしかしたら最初にLINE登録してもらった方もいるかもしれないんですけど、今の画面はまだちょっと見づらいかと思うんですけども、今年中にリニューアルをして、皆さんが欲しい情報が分かりやすく、また申請する手続きとかも、スマホから申請できるものについては、この公式LINEアカウントを見ればすぐわかるような形に工夫していきたいなと思っているので、これはリニューアルができれば、また皆さんのところにもお知らせしたいという風に思っています。

高齢者についてはですね、見守りライトの設置事業というのを新しく始めましたし、緊急通報電話というのがあるんですけども、これもですね、住民税の課税世帯でも対象にするということで、必要な方により使いやすくしております。あと、健康については成人の歯周病が進んでいるということがありまして、今まで5歳きざみで歯科検診というのをやっていたんですけども、60代に関しては63歳と68歳も検診に行けるように追加をさせていただきました。あと下はですね、インフルエンザの予防接種、中学校に加えて高校3年生ですね。受験期の皆さんにインフルエンザの予防接種受けやすくするための助成というの也开始する予定になっています。

農業の関係も色々ですね、新しいもの取り組んでいますし、産業政策については設備投資もやっているんですけども、1 番に言われるのは人材確保が皆さん苦勞しているということで、この人材確保の支援の補助金というのを今年新たに作ったところになります。産業団地、駒寄と大前田についても、引き続き急いで進めているところになります。

前橋市のシティプロモーションの関係では、『前橋ウィッチーズ』というアニメがですね、4 月から放送されているんですけども、見ている方いらっしゃいますか。ありがとうございます。女子高生が主役で、若い世代は結構見ている方がいるかなと思うんですけども、全国的には若者中心にバズっているアニメになります。すごく前橋の風景を綺麗に描いていただいているので、いわゆる聖地巡礼というモデルになった前橋に行ってみようという方が結構いてですね、前橋ウィッチーズ、これからどんどんお客さんをお呼んでくれるのではないかと期待をしているところです。そういったファンの方の受け皿になるような、ちょっとしたプロモーションというのもこれからやっていく予定になっています。

あと、台湾ですね、前橋市は台湾と非常に縁が深いんですけども、もう少し積極的に、単なる文化交流だけではなくて、観光の呼び込みだとか、あるいはビジネスで繋がれないかということで、台湾とのインバウンドの事業というのを今年度予定しています。

そして、公共交通の利便性の向上というところでは、高校生の通学代、バスの定期代の半額補助というのを始めます。群馬に住んでいると、バスに一生で一度も乗ったことがないという方がいらっしゃいまして、乗ったことがないと、そもそも乗ってみようという気持ちにならないので、なるべく若い世代のうちからバスに乗る機会を増やせないかなと思ってます。特に群馬県は高校生の自転車事故が日本一多いという風に言われているので、高校生も自転車に乗らなくても通学できるような仕組みも作りたいということで、今年度から新たにバスの定期券の補助というのを始めているところになります。交通関係はこの後の意見交換でも、皆さんから色々意見いただけるといいなと思います。

インフラの関係ではですね、土木関係の費用というのもちょっと予算を増やしました。これ、増やしたというのがすごく言い方が難しいんですけども、今まで身近な道路の陥没しているところを直したりだとか、水路が壊れてきているのを直したりという予算を、前橋市は補正予算という、9 月ぐらいの予算で追加で取って年度の後半に工事の発注をすることが

多かったんですけども、そうすると年度末に向けて工事が増えちゃったりだとか、発注を受けた業者さんも同じ時期に工事するんで大変だったんですけども、やっぱり必要な予算については、年当初にしっかりと確保をして、計画的な整備ができるのと、自治会の皆さんからの要望もですね、しっかり早めに対応できるような形を今整えていきたいということで、これは予算を増やしたというか、付け方を変えて年当初の予算で確保するという形に変えているところになります。

はい、ということでちょっと喋りすぎましたけれども、こういった形で今の今年度の予算を作らせていただきました。この後の質問の時間では今の予算のこともいいですし、それ以外のいろんな前橋の課題だとか、あるいは皆さんの意見だとか、今日の話聞いた感想だとか、何でもいいので、たくさん意見を出していただけると、皆でこの時間を共有できている証かなと思いますので、よろしくお願いいたします。

以 上